

予算の執行とその概要

平成25年度の国の予算編成においては、日本の経済再生に向けて、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略の「三本の矢」を一体として実行するために、「復興・防災対策」、「成長による富の創出」、「暮らしの安心・地域活性化」の3分野における経済対策を進めながら、デフレからの早期脱却と民間主導による経済成長の実現に向けた取組を推進しようとするものでした。

しかしながら、海外景気の下振れが引き続き我が国の景気を下押しするリスクをはじめ、国民生活に大きな影響を与えている少子高齢化による人口減少問題、被災地の復興や原発による安全性の確保、経済のグローバル化と慢性的な国内需要不足といった社会変化により、長期にわたるデフレと景気の低迷などから依然として厳しい状況が続いています。

こうした状況にあって、本市においては、国の「地域の元気臨時交付金事業」により各種交付金、さらには「過疎対策事業（ソフト事業）」の活用を図りながら、地域の活性化や雇用対策、市民生活の安定化、将来まちづくりにおいて成長力を高める施策など、持続性、独自性、発展性の観点から必要とされる事業に加え、公共施設等の耐震化を図るため公共施設の耐震化事業、芦別120周年・市制施行60周年記念事業に係る各種スポーツ公式大会等の開催事業、さらには本市を舞台とした芦別映画製作事業など、生活向上と市内経済の活性化を目指し、「人と経済」をキーワードした施策事業の予算を計上しました。

予算の執行にあたりましては、「第5次芦別市総合計画・実施計画の目標と施策の達成」と「芦別市行財政改革推進計画」により、地域の活性化と雇用の確保、生活環境の向上、地域の振興に資する社会資本整備事業（公営住宅建設、道路・河岸整備、森林環境保全整備、学校施設整備）や福祉、医療・教育の充実に鋭意努めてまいりました。

これらの結果を踏まえた各会計の決算の状況は、次のとおりとなっております。